

嵐山町では、母親の子育ての負担が大きいのですか。

以下 24 年、議員をして私の感じていることです。

① 代々の家父長制意識が強い男社会で、  
女が家庭で子育てするのが当然とされます。

② 子ども用の施設や安全な外遊びの場が少ない。  
子どものための施設や制度を求めると  
「子どもは自分で遊ぶものだ」  
「予算がない」と切られます。

③ 政府が少子化対策を進めると当事者の意見に耳を傾けないで、  
独自判断で「よかれ」ということを進めます。

「ピントがずれている」と思うのです。

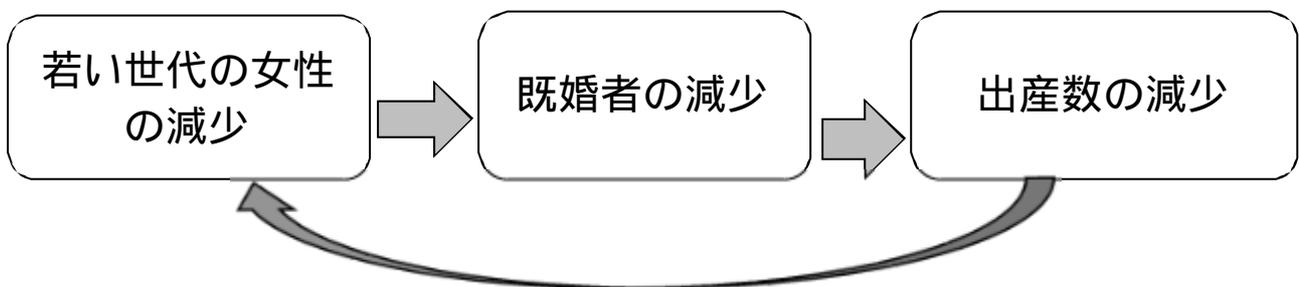
育ジジ育ババが近くにいて手伝ってもらえる場合はまだいいのですが……



若い女性が少ない嵐山町は、自治体消滅の可能性が報告されました。

おやじ感覚の「子そだてセンス」で、嵐山町運営はやめてほしいのです。

子育てしにくい町になって、子育て世代の若い女性がいなくなります。



この嵐山町消滅の悪循環を断ち切るために

- ① 女性が主体になった経済環境を整えること
- ② 人と人が出会える場・縁をつくる機会をつくること
- ③ 働く女性がハッピーになるまちづくりをすること
- ④ ふるさと嵐山町が大好きになること
- ⑤ 自分らしさを追求して幸福になるまちづくりを進めること

